

令和 5 年度第 15 回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和 6 年 2 月 14 日（水） 14 時 00 分 ～ 15 時 00 分
場所	市長応接室
テーマ	健康について
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篠崎市長 ○ 生活協同組合コープやまぐち（6 名） 生活協同組合コープやまぐち理事長、宇部地域理事、宇部地域組合員リーダー、宇部中央ブロック地域組織委員、宇部西ブロック地域組織委員、宇部センター長 ○ 健康増進課、こども政策課、こども支援課、総合政策部、広報広聴課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウォーキングによる健康づくりイベントとして、美祢市で秋吉台ウォーキングを開催し、参加者にはコープ商品をプレゼントしている。今後、宇部市、山陽小野田市、美祢市の 3 市合同でウォーキングイベントを開催したいと考えている。（宇部地域理事） →令和 6 年度から、地域活動や健康イベントに参加した人を対象に市民ポイントを交付する制度を開始する予定。ウォーキングイベントも市民ポイントの対象にできないか考えたい。（市長） ○ 山口県はがん検診の受診率が低いため、受診率向上に取り組んでいる。令和 6 年度は、10 月のピンクリボン月間に、子ども向けの出前講座や学習会など様々な取組を展開したい。（宇部地域理事） →がん検診の啓発活動について連携して取り組んでいきたい。WAKUWAKU マーケットや宇部まつりでピンクリボンに関するブース出店ができないか考えたい。現在、市民活動の拠点となる市役所 2 期棟の工事を行っているが、令和 7 年夏の完成後は 2 期棟でも啓発イベントを実施したい。（市長） ○ 食育を通じた健康づくりへの取組として、令和 6 年度は西部体育館で子育てひろば交流会を開催する。離乳食教室で使用しているアレルギーに対応した商品「ふぁみーゆ」を周知したい。（宇部地域理事） →健康遊具を西部体育館横の公園に設置している。健康遊具を活用した高齢者の健康イベントをコープやまぐちと市で協力してやってみたい。（市長） ○ コープ商品を様々なイベントで提供することが可能である。例えば、移動店舗を活用して、子どもたちに買い物体験をしてもらうことも考えている。（理事長） →子どもの貧困やヤングケアラーなど、困難を抱える子どもが増えており、色々な体験をする機会に恵まれていないことが多い。宇部市は自治体としては初めて、日本ユネスコ協会連盟と連携協定を結んでいる。今後、企業の協力を得て体験活動を提供する取組を開始する。コープやまぐちにも、ぜひご協力をお願いしたい。（市長） ○ コロナ禍で高齢者が外出する機会が減少しており、健康寿命のため改善したい。高齢者が外出するきっかけづくり、外出支援についてコープやまぐちと協力して取り組むことはできないか。（市長） →店舗にある集会室を、高齢者向けのサロンとして使用することも可能だと考えている。また、交通手段がない高齢者向けに、無料送迎するお買い物サポートカーや弁当配達の手配を提供している。このようなサービスも市と協力することで、可能性が広がると思っている。（理事長）

課題等	<ul style="list-style-type: none">○ がん検診の啓発活動について、コープやまぐちとの連携を検討。○ コープやまぐちが開催するウォーキングイベントについて、市民ポイントの対象とすることを検討。○ 健康遊具を活用した高齢者の健康イベントや外出支援について、コープやまぐちとの連携を検討。○ 日本ユネスコ協会連盟との連携協定に基づく取組に、コープやまぐちの参加を検討。
-----	---